

朝日岳

初V

未経験からの

27歳 登頂



※写真は南保富士にて。

なぜ、人は山に登るのか――？



地域おこし協力隊の池田まゆです！朝日町に移住して2年が経ちました。現在は、あさひシーサイドドッグランを運営しています。



「朝日小屋って、何ですか？」
2016年1月、移住して三ヶ月が経った時のことだった。朝日小屋の管理人・清水ゆかり氏（58）を紹介された私は、氏に対してそのような質問をしてしまった。当時の私は、まさか自分がこの後、朝日岳に登るだなんて、思いもしなかった。
「あんた山登ったことないがけ？」
この町は、どうやら山にアツイ人が多いらしい。私は一度も登山なんてしたことがない。山道しんどそうじゃん。でも、なぜ人は山に登るのか。私は、答えを知りたかった。

山をななめ

塩をななめ

目標は朝日岳 低山で練習を重ねる日々



朝日町の中学生は皆、学校行事の一つとして、朝日岳に登ることになっているらしい。町名の由来になった朝日岳への挑戦が、「なぜ、人は山に登るのか」という問いへ、一歩近づけるかもしれない。私は、朝日岳を目指すことにした。

標高2418メートルへの挑戦は、まったく想像ができない。登山が趣味というハープと喫茶ヒュッゲの店主・坂口直子さん(36)に相談してみた。「よし、低山に登ろう！」

格好だけは山ガール

低山マップを眺める。

なんと：朝日町にはこんなにたくさん低山があったのか。でも、どんな格好で登山をすればいいんだろう？ ありがたいことに、町民の方々が登山グッズを貸してくれた。もしもすべて自分で揃えたら、総額いくらになるのだろう。初めて履くスパッツ。なかなか履き心地が良い。登山用リュックはこんなに大きいんだなあ。



頭から足先まですべてレンタル

低山なんて余裕！？

朝日岳に登るまでに、

①南保富士②大鷲山③白鳥山で練習することになった。

人生初の山は標高727メートルの南保富士。遭対協の上原祐一さん(44)ら、山男3人と坂口さんのチームに加え、てもらった。低山くらい。：と思ったものの、登り始めて15分で息が上がる。「あつ！」次の瞬間、足を踏み外し、身長と同じくらい滑落した。上原さんら山男3人に引き上げてもらったものの、本当に恐ろしいできごとだった。

山頂で食すラーメン

低山とはいえ、山登りは辛かった。でも、楽しいことも発見した。それは、食事。白鳥小屋で食べたカップ麺は、27年間の人生で一番おいしいカップラーメンだった。もう一度味わいたい。



みんなでゴールを迎える

リュックの重み



気圧で膨張したカップヌードル

ついにこの日を迎えた。朝日岳登山、当日。リュックにはこれでもか、という位、ものを詰め込んだ。水にお菓子に、着替え、防寒着：ファスナーが壊れそうなくらい。密度の高いリュックはずっしり重く、普通に歩くのでさえ大変だ。これを背負い、八人で山頂を目指す。



そして朝日岳へ

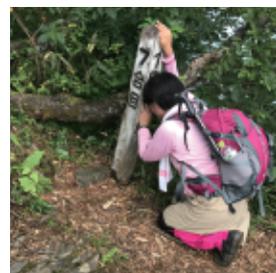
応援メッセージをお守りに

遭対協隊長の大和徳明さん(56)を先頭に、朝日岳登山がはじまった。三合目、五合目、七合目：何時間登るのだろうか。いつまでも続く急登に、精神的にも追いやら

なぜ、人は山に登るのか？

スタートから約6時間半。どうにか朝日小屋に到着。管理人の清水さんが出迎えてくれると、涙があふれ出てきた。私たちが以外にも、多くの登山客で小屋が賑わっている。お酒も、ごはんもいつも以上にすすむ。幸せな瞬間だった。

「なぜ、人は山に登るのか？」朝日岳に一度登っただけでは、その答えを導き出すことはできなかった。でも、なんとなく感じたこと、それは、「好きなことに理由なんてない。」
：ということだった。



7合目が一番苦しかった

れる。「もうすぐ素晴らしい景色が見えてくるよ！あつ、これはチングルマね！」大和隊長は、私を励ましながら、驚くほどたくさん高山植物について教えてくれた。

次号11月号は、中学生記者が大活躍！
&
北又散策研修